

6 - 16 中部・北陸地方の地殻変動

Crustal Movements in the Chubu and Hokuriku Districts

国土地理院

Geographical Survey Institute

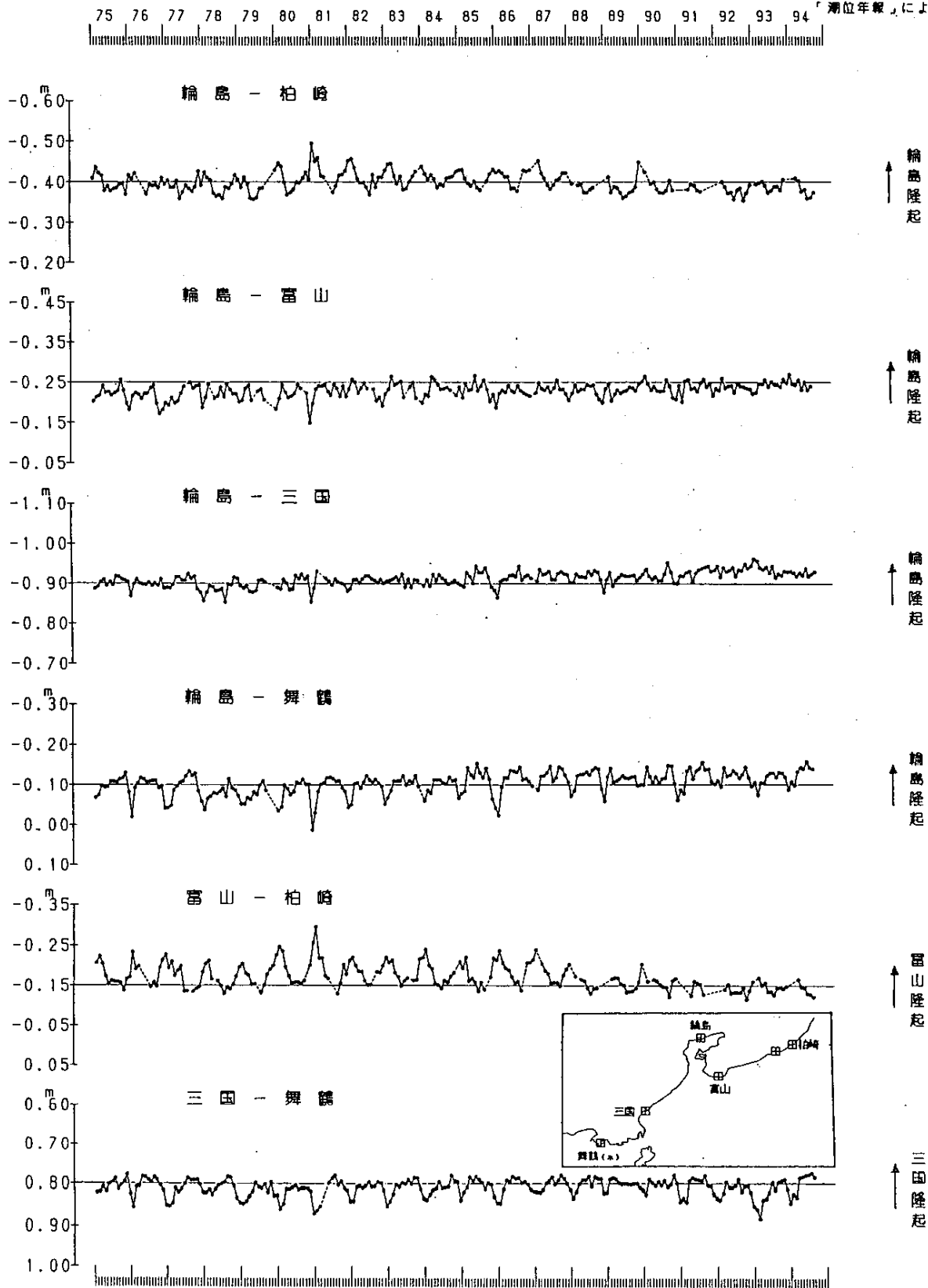
第1図は、北陸地方各験潮場間の月平均潮位差である。輪島～三国で輪島が1992年後半やや隆起加減になったが、ほぼ以前のレベルに戻ったようである。第2図は、輪島・柏崎・三国・小木客験潮場間の日平均潮位差である。年周変化が大きく、特に異常な変化は認められない。

第3図は、名古屋周辺の験潮場間の月平均潮位差である。鳥羽が1980年代初めより沈下傾向にあったが、1900年頃から停滞気味である。

第4図は、長野精密辺長測量結果である。今年に入って、観測網の近傍の松代地震観測所の伸縮計に大きな伸びの変化が見られていることが報告されているが、辺長測量結果では昨年のデータと比較しても、特に目立った変化はない。主歪は、ほぼ東西の縮みで、この地域の広域の歪場と調和的な結果が得られている。

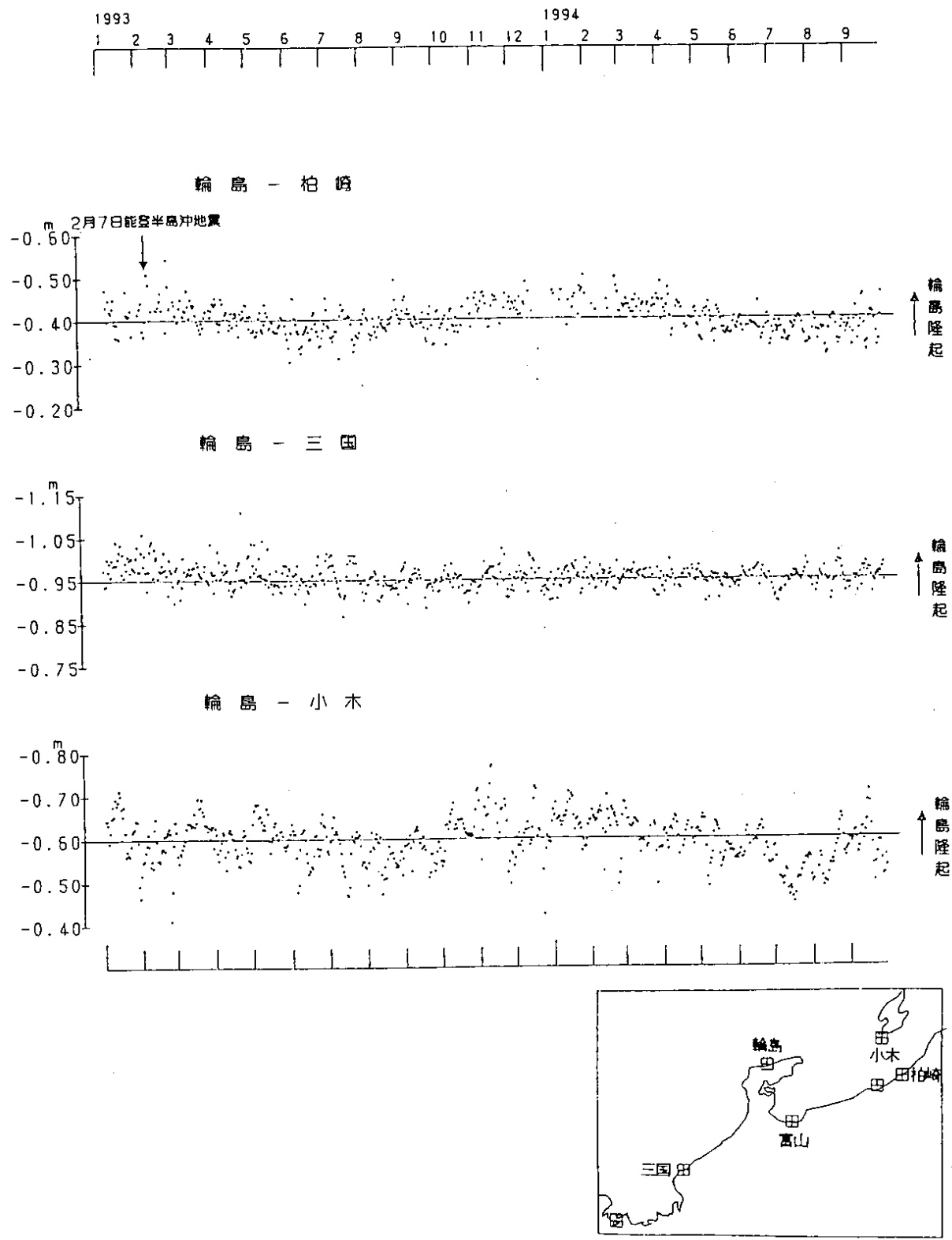
参 考 文 献

- 1) 国土地理院：中部地方の上下変動，連絡会報，50（1993），528-536．
- 2) 国土地理院：中部地方の地殻変動，連絡会報，51（1994），631-639．
- 3) 国土地理院：中部地方の地殻変動，連絡会報，52（1994），479-490．



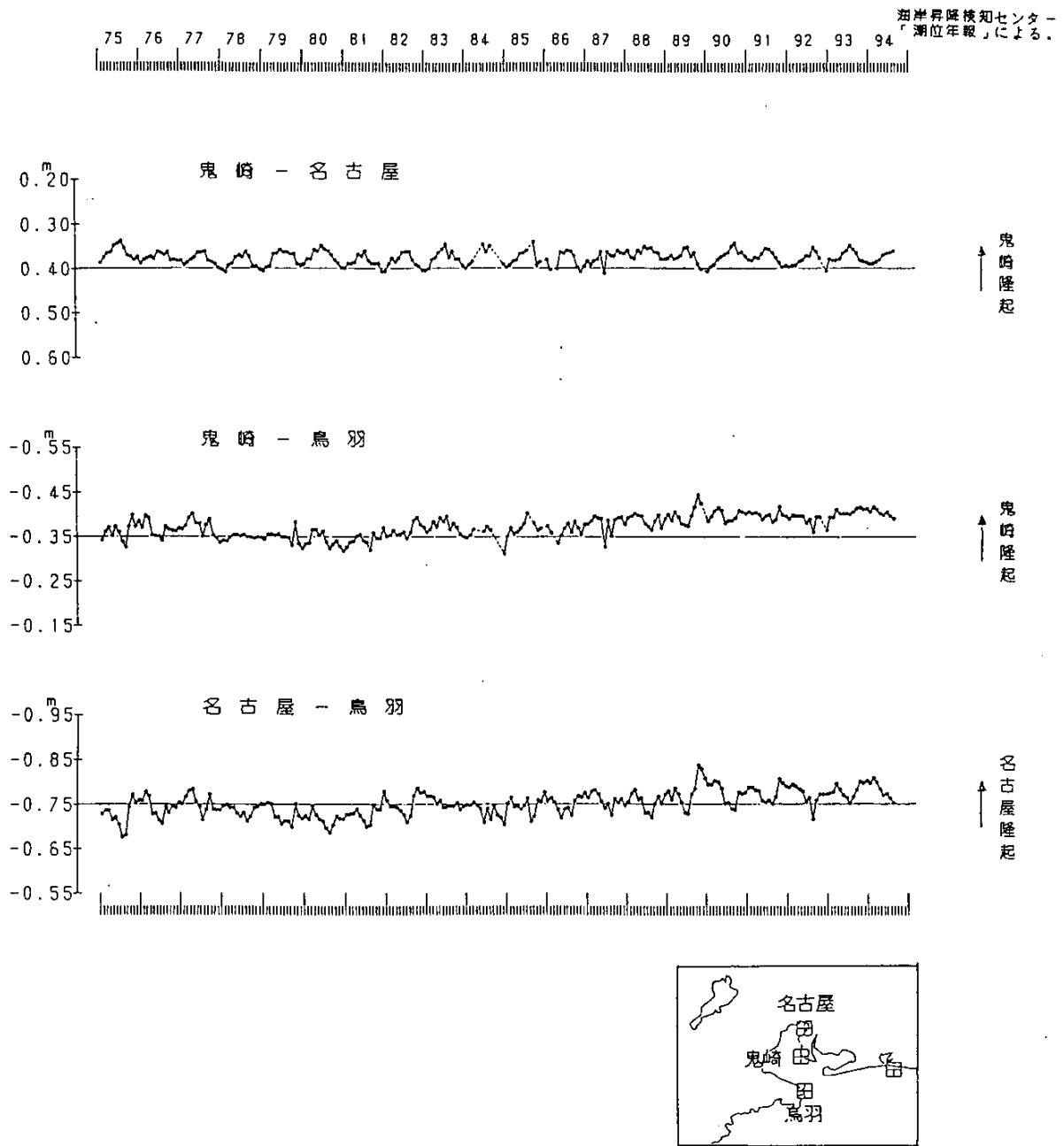
第 1 図 北陸地方客験潮場間の月平均潮位差

Fig. 1 Differences in monthly mean sea levels between pairs of tide stations in the Hokuriku district.



第2図 輪島・柏崎・三国・小木各験潮場間の日平均潮位差

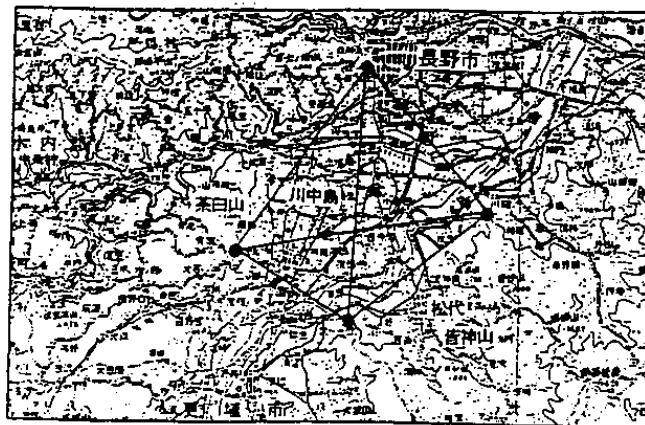
Fig. 2 Differences in daily mean sea levels between Wajima, Kashiwazaki, Mikuni and Ogi tide stations.



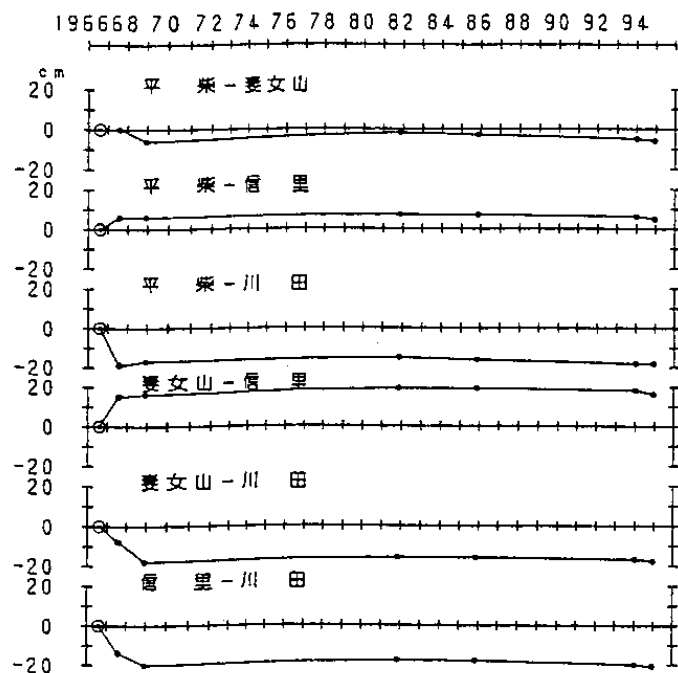
第3図 名古屋周辺の各験潮場間の月平均潮位差

Fig. 3 Differences in monthly mean sea levels between the pairs of tide stations in and around the Nagoya area.

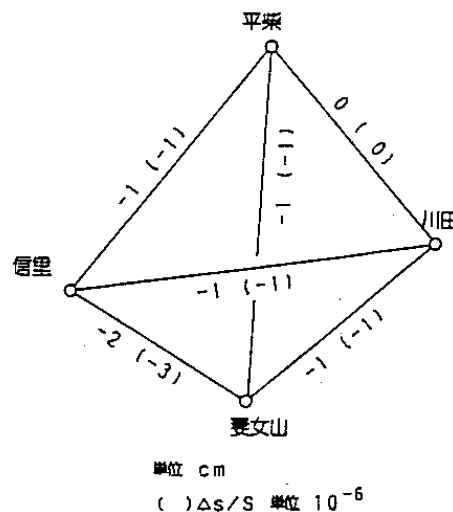
測定年月	1966	67	68	81	1985	93	94
区間	05	05	09	08	08	10	09
平柴～妻女山	10,257.77	.77	.71	.75	10,257.74	.72	.71
平柴～信里	9,127.42	.48	.48	.49	9,127.49	.48	.47
平柴～川田	7,553.91	.72	.74	.78	7,553.75	.73	.73
妻女山～信里	6,003.51	.86	.87	.70	6,003.70	.69	.67
妻女山～川田	7,115.07	.99	.89	.91	7,115.91	.90	.89
信里～川田	10,722.92	.78	.72	.74	10,722.74	.72	.71



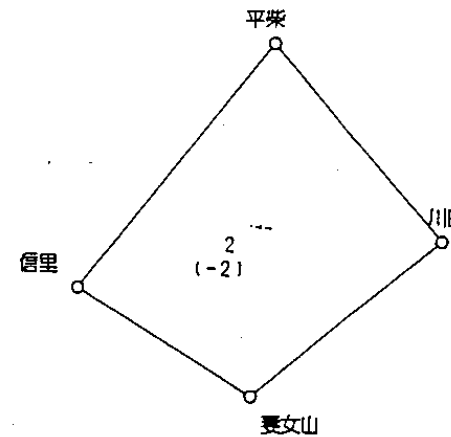
辺長の経年変化



水平歪・辺長変化
1994.9 — 1993.10



水平歪・辺長変化
1994.9 — 1993.10



5×10⁻⁶ 伸び
5×10⁻⁶ 縮み } 主軸

数値 最大せん断歪 10⁻⁶

() 面積変化率 10⁻⁶

第4図 長野精密辺長測量結果

Fig. 4 Results of the precise distance measurements in the Nagano baselines.